

Q 1 . ITC の創設者は誰ですか A 1 . アーネスティン ホワイト

Q 2 . 日本にはいくつのクラブがありますか A 2 . 8 1

Q 3 . 日本で ITC が始まったのはどこですか A 3 . 名古屋

Q 4 . 日本で ITC 活動が始まったのは何年ですか A 4 . 1949 年

Q 5 . 指名委員選挙でテラーは得票数の多い順に発表する A 5 . はい

Q 6 . 会長が欠席の場合、誰がその代理をするのですか A 6 . 副会長が代理を務める

Q 7 . 議長がアジェンダ通りの進行を間違えました。議事録はどのように記入しますか

A 7 . 議事が行われたとおりに書く

Q 8 . 書記が欠席の場合、議長が宣言をした後、選出するのは？ A 8 . 臨時書記

Q 9 . 臨時書記が作成した議事録を次の月に朗読するのは？ A 9 . 本来の書記

Q10 . 会員間のメール通信が可能になり、メール上で会員全員が目を通し、訂正、付加等、訂正後の議事録を共有できる場合、例会での議事録朗読は省略できるか？

A10 . ロバート議事法 P.389 の「議事録の朗読及び承認では議事録は開会の宣言後に朗読され、承認される」と記述されている。P.390 には「討議なしの過半数の表決により、議事録の朗読は、「省略する」・・・つまり「通常の時間に行わないでおく」事が出来る。

議事録の朗読が省略された場合には、当該会合の後の時間で、いかなる議事も検討中でない時にその朗読を命ずることが出来る。閉会までにこのようにして議事録の朗読が取り上げられないならば、これらの議事録は、次の会合で、それより後の議事録が朗読される前に、朗読されなければならない。」と記述されている。

特別例会等で朗読を省略する場合には、事前に全会員に議事録を送付し、各自が読むことを朗読に代える旨の承認を得ることが必要である。その場合でも、必要な審議、採決は必ず行う。

(状況により、議事録が朗読されないことがあるが、大切なことはどのような場合でも議事録は会員の承認を得る必要がある。)